

はまふうどナビ

農の豊かさと 美食を楽しむ

地産地消月間!

11月は



「よこはま食と農の祭典2013」
Let's enjoy 地産地消 開催

- 開催日時：11月10日(日)
11:00~17:00(予定)
- 会場：メイン クイーンズサークル
サブ マークイズみなとみらい
- アクセス：みなとみらい線
「みなとみらい駅」からすぐ
- 入場料：無料
- 問合せ：横浜市環境創造局農業振興課
TEL：045-671-2638

イベントの詳細は2ページを
ご覧ください



これからの季節、横浜は根菜類、葉物野菜など多くの農産物が収穫されます。肉・卵・乳製品は食卓を豊かに彩ります。花苗は色とりどりの花卉を開かせ、街を華やかにします。



よこはま食と農の祭典 2013 タイアップイベント

みなとみらいにある3つのホテルが「よこはま食と農の祭典2013」にタイアップして、地産地消イベントを開催します。

横浜ロイヤルパークホテル

期間限定「しいたけキッシュ」
「こまつなガトーショコラ」発売

ケーキショップ「コフレ」で、旬の横浜野菜を使用した「しいたけキッシュ」と「こまつなガトーショコラ」を期間限定販売いたします。

期間：11月1日(金)～30日(土)

会場：1階 ケーキショップ コフレ

アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩3分、JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩5分

問合せ：横浜ロイヤルパークホテル TEL:045-221-1111 (代表) <http://www.yrph.com>



横浜ベイホテル東急

「ナイト・キッチンスタジアム」
こだわり食材 神奈川・横浜～地産地消～

地元横浜を中心に神奈川県内の新鮮な食材を使ったメニューの数々をbuffetスタイルで提供いたします。

期間：11月18日(月)～2014年1月13日(月・祝) ※除外日あり

会場：オールデイダイニング「カフェトスカ」
アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩1分

問合せ：横浜ベイホテル東急 TEL 045-682-2218 <http://ybht.co.jp>



ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

「はま菜ちゃんパン」

横浜ブランド農産物のシンボル「はま菜ちゃん」をイメージし、ほうれん草やかぼちゃを使ったホテルメイドパンが今年も登場!

期間：11月1日(金)～30日(土)

会場：ペストリーショップ「ザパティセリー」(1F)
アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩3分

問合せ：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル TEL 045-223-2222 (代表) <http://www.interconti.co.jp/yokohama>



よこはま 食と農の祭典 2013

Let's enjoy 地産地消
開催します！

11月の地産地消月間のイベントとして、今年もみなとみらいで「よこはま食と農の祭典 2013」を開催します。

横浜の地産地消をまるごと

“味わって・体験して・知る”をテーマに

子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。

みなとみらいを代表するホテルの総料理長もステージに登場！

地元横浜の農家による横浜産野菜等の直売も行います。

11月10日はぜひ「よこはま食と農の祭典 2013」にご来場下さい！

日時：11月10日(日) 11:00～17:00(予定)

メイン会場：クイーンズサークル(クイーンズスクエア横浜1F)

サブ会場：マークイズみなとみらい(ランドガレリア1F、東京ガス横浜ショールーム4F)

アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」からすぐ



主なステージイベント

① 野菜ソムリエと一緒に横浜の農業と地産地消を愉しもう!!

横浜の農業を女性の視点で取材し、楽しいゲームを作りました。

皆さんに参加・体験して愉しんでいただき、試食で丹精込めて育てられた農産物の味を、じっくり堪能していただきます。

② 地産地消！来て、見て、参加して学校給食

横浜の食育キャラクター「バランスィーナちゃん」が野菜の話をしてくれるほか、野菜クイズもあります。



③ 直売所へ出かけよう!!

市内には新鮮な農畜産物等を販売している直売所がたくさんあります。

元気に活躍する農家より“直売所の魅力”をお伝えします。

④ 大人の料理コンクール

テーマ食材は「コマツナ」。

はまふうどコンシェルジュのいる地産地消サポート店が市内産のコマツナを使用した一品を用意します。

⑤ みなとみらい三銃士の総料理長によるトークライブ

みなとみらいを代表する3ホテル(ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、横浜ロイヤルパークホテル、横浜ベイホテル東急)の総料理長がステージに登場します！

⑥ はま菜ちゃんビンゴ大会・クイズ大会

はま菜ちゃん 30品目の中から好きなキャラクターを自分で選んでビンゴ大会、横浜の地産地消や農業に関するクイズ大会。

成績上位者には賞品をプレゼントします。



昨年の様子

その他

旬の横浜産野菜等の直売コーナー、米を使った体験コーナー、横浜の農業・地産地消紹介コーナー、はま菜ちゃん料理コンクール(本選・下記参照) など(予定)

マークイズみなとみらいで初開催！

はま菜ちゃん 料理コンクール



横浜市内産農産物をつかって、
学校給食メニューを考えよう！

はま菜ちゃん料理コンクールは、市内産農産物に対する理解と学校給食への関心を高めるため、横浜市内の小学生を対象に学校給食メニューのレシピを募集するイベントで、2003年から10年にわたり開催しています。優秀なメニューを考案してくれた小学生には毎年、東京ガス横浜ショールームで実際に調理してもらっています。また、特に優れたメニューは、学校給食にも採用されています(今年度の募集は終了しています)。

※横浜ブランド農産物ははま菜ちゃんは横浜生まれの野菜や果物のシンボルマークです。



平成24年度の給食メニューに採用された「はま菜ちゃんの米粉で作る豆乳シチュー」。
平成22年度 入選作品
瀬谷区 大門小(当時)
渡辺 果林さん

青葉区

青葉区民まつり 2013・ 青葉区健康フェスティバル

区民まつりの会場で、横浜産の農産物を販売する予定です。健康フェスティバル会場では、「プラスチックカップを使用した簡単な野菜づくり」を行います。



開催日時 11月3日(日・祝)10:00～15:00

会場 青葉区役所

アクセス 東急田園都市線「市が尾駅」から徒歩8分、または「青葉区総合庁舎バス停」下車(駐車場は利用できません)

問合せ 青葉区民まつり運営委員会事務局

TEL:978-2291 FAX:978-2413

「プラスチックカップを使用した簡単な野菜づくり」講座

TEL:978-2216 FAX:978-2410

港北区

こうほく消費者の つどい～消費者大学～

城郷地区の消費生活推進員が地元野菜を販売します(売切次第終了)。



開催日時 11月27日(水)11:30～15:30

会場 港北区役所中庭

アクセス 東急東横線「大倉山駅」から徒歩7分

問合せ 港北区消費生活推進員の会・港北区地域振興課 TEL:540-2243 FAX:540-2245

高田地域ケアプラザでの 地元農産物の直売

地元産野菜の直売を行います。



開催日時 11月29日(金)、12月6日(金)、12月13日(金)11:00～12:00(荒天中止、売切次第終了)

会場 高田地域ケアプラザ玄関前(港北区高田西2-14-6)

アクセス 横浜市営地下鉄「高田駅」から徒歩2分

問合せ 港北区区政推進課 TEL:540-2230 FAX:540-2209

旭区

あさひの朝市



毎月第4木曜日に、旭区の地元農家さんが作った安心で新鮮な野菜を販売します。



開催日時 10月24日(木)、11月28日(木)、12月26日(木)10:30～13:00(荒天中止、売切次第終了)

会場 旭区役所1階 情報発信コーナー

アクセス 相鉄線「鶴ヶ峰駅」から徒歩7分

問合せ 旭区地域振興課「あさひの朝市」担当

TEL:954-6099 FAX:955-3341

横浜の “農” イベント

区役所が 開催するイベント



このマークのあるイベントはマイバッグをご持参ください

神奈川区

わが町かながわ 新鮮野菜市



地元農家、障害者地域作業所、ヘルスメイトが協力して区内産野菜を販売します。



開催日時 10月30日～12月25日の毎週水曜日、10:30～12:15(売切次第終了)

会場 神奈川区役所別館1階区民ホール

アクセス 東急東横線「反町駅」、JR「東神奈川駅」、京浜急行「仲木戸駅」から徒歩7分、または市バス「二ツ谷町バス停」から徒歩2分

問合せ 神奈川区区政推進課

TEL:411-7027 FAX:314-8890

保土ヶ谷区

宿場朝市 ごうどいち



江戸時代から昭和20年代まであった「神戸市(ごうどいち)」を現代風に復活させます。区内産農産物の直売、保土ヶ谷宿名物の紹介と販売、今昔写真展の開催、市民団体等の活動紹介などを行います。

開催日時 10月6日、11月3日、12月1日(毎月第1日曜日) 各回10:00～12:00(荒天中止)

会場 保土ヶ谷駅西口商店街 北川製粉中庭(保土ヶ谷区帷子町2-82)

アクセス JR保土ヶ谷駅西口より徒歩約5分

主催 ほどがや人・まち・文化振興会

問合せ 桑名屋(近藤) TEL:331-0233

保土ヶ谷区区政推進課 TEL:334-6227

まちなか農家さんの ほどがや朝市



新鮮で旬な保土ヶ谷産の野菜を販売しています。市民活動グループ「ほどがや産直便」の皆さんと協働し、開催しています。



開催日時 10月12日(土)、10月26日(土)、11月9日(土)、11月23日(土・祝)、12月14日(土) 各回9:30～(売切次第終了、雨天中止)

会場 保土ヶ谷区役所前広場

アクセス 相鉄線「星川駅」徒歩2分

問合せ 保土ヶ谷区地域振興課

TEL:334-6380 FAX:332-7409

都筑区

都筑野菜朝市



区内の農家が朝市を開催。環境に配慮し、レジ袋は有料とさせていただきます。



開催日時 毎月第2・4土曜日(10月12日、10月26日、11月9日、11月23日、12月14日、12月28日)9:30～12:00

会場 都筑区役所駐車場横通路

アクセス 横浜市営地下鉄「センター南駅」から徒歩6分

問合せ 都筑区区政推進課

TEL:948-2226 FAX:948-2399

メイドイン つづきフェスタ



区内に立地する企業の紹介と区内で採れた新鮮な都筑野菜の収穫祭を行います。



開催日時 10月19日(土)10:00～15:00

会場 横浜市営地下鉄「センター南駅」構内

問合せ 都筑区区政推進課

TEL:948-2226 FAX:948-2399

緑区

とれたてみどり 直売所「さら」



今年7月にオープンしました。地元の農家の皆さんが作った野菜をNPO法人横浜市精神障がい者就労支援事業会「さら」が販売します。



開催日時 毎週火・木曜日(祝・祭日は除く)10:00～15:00(売切次第終了)

会場 緑区役所地下1階

アクセス JR・横浜市営地下鉄「中山駅」から徒歩5分

問合せ 緑区区政推進課

TEL:930-2228 FAX:930-2209

みどり地場野菜 の直売会



地元の農家の皆さんが、新鮮野菜を販売します。



開催日時 10月9日(水)、11月13日(水)、12月11日(水)8:45～13:00(売切次第終了)

会場 緑区役所ピロティエ

アクセス JR・横浜市営地下鉄「中山駅」から徒歩5分

問合せ 緑区区政推進課

TEL:930-2228 FAX:930-2209

はまふうど人 登場

vol.30

さまざまな立場から地産地消に取り組む方をご紹介します



ナチュラル・ボノ
オーナー ^{うえきまこと} 植木真さん

農家との良い関係が生み出す料理 地場野菜を買って農業を応援したい

青葉区・藤が丘駅前にあるイタリアンレストラン「ナチュラル・ボノ」は、地場で採れたおいしく珍しい野菜を数多く味わえると評判の「よこはま地産地消サポート店」。さまざまな取組みを続けるオーナーの植木真さんに、地産地消にかける思いや新たに挑戦していること、今後の展開についてお話を伺いました。

香り高いトマトとの出会いで 地場野菜の魅力に気づく

植木さんが地産地消に目を向け始めたのは、10年以上前。暑い季節、メニューにトマトの冷製パスタを取り入れようとしていたときでした。「なかなか完熟したトマトが見つからなくて、いまいち味が決まらない。イタリアンは調理法がシンプルだけに、素材の良しあしで料理の味が8割くらい決まっちゃうんですね」。

おいしい素材を探し求める中で出会ったのが、地元農家・金子さんが手塩にかけたトマトでした。「一般のトマトは流通を考えて4~5日早採りして出荷されるのですが、金子さんの直売所では木で熟したトマトを朝もいで、その日に販売。甘みがあって、酸味とのバランスも良く、何よりも香りが違いました」。植木さんは地場野菜の魅力を知り、近くの直売所に通うように。そのうち農家の人と顔見知りになり交流が生まれ、信頼関係を築いてきました。今では農家との付き合いの輪は青葉区、緑区、都筑区、港北区へと広がり、時には直接畑に赴いて自ら収穫することもあるとか。

おいしいのはもちろん 地産地消のメリットはさまざま

旬を映し出す露地栽培の地場野菜。当然、手に入る野菜は日々変化します。「以前はメニューを決めてから必要な素材をそろえていましたが、地場野菜を使うようになってからはそれが逆転。まず素材を仕入れ、そこからメニューを考えるようになりました」。



取材当日のディナーで提供される野菜。オクラの花など、直接農家を訪れるからこそ手に入る食材も

旬の野菜は新たなメニュー開発にもつながっています。例えば春野菜のフキノトウは、イタリアンではあまり使わない食材。「でも農家さんにおいしい季節だから、この2~3週間しか食べられないからと言われて」。そこからフキノトウをパスタやフリット(天ぷらのようなイタリア料理)にしてみようという発想が生まれます。

旬の野菜はおいしいだけでなく、体にも良いと植木さんは言います。暑い夏には体を冷やすトマトやキュウリ、肌が乾燥する秋にはうるおいを補う唐辛子やピーマン、秋ナスなど、冬は体を温める根菜類が旬を迎えます。「レストランにお越しいただいた方には、お皿を彩る野菜で季節を感じながら、体に良い作用のある料理を食べていただきたいですね」。

さらに、横浜野菜は多品種で、少量生産が多いのも魅力の一つ。「野菜づくりに熱心で、遊び心がある農家の方が多く、一般市場では手に入らないような珍しい野菜に出合えるんですよ」。植木さんのレストランで提供する野菜は年間300種以上、トマトだけでも赤や緑、オレンジなど、25種ほどの品種があります。

本場イタリアではメジャーでも、日本ではまだなじみの薄い野菜などの栽培を農家へリクエストすることもあります。また、農家からサンプルの野菜が手に入ったときは、最適な調理法を試行錯誤。家庭でもできるおいしい食べ方の提案を農家にフィードバックします。その情報を農家が直売所の買い物客に伝えることで、野菜の販売促進につながっています。以前、作付けを依頼したルッコラ

やアイスプラントは、こうして一般家庭にも広まってきました。

そのほかにもキュウリは、接ぎ木をしない自根のものをリクエストしています。一般のキュウリは、病気になりやすく収穫量が増えることから、カボチャに接ぎ木して育てることが多いとか。しかし、おいしさやみずみずしさはどうしても損なわれます。「お客さんはおいしい料理を求めて来店されます。まず、それに応えたいうえで、さらに地産地消になるならベスト。おいしい野菜を使い続けるために、地場野菜の良さをお客さんに話すようにしています」。

レストランのメニューには、珍しい野菜の写真とともに、それを生産した農家の人の顔写真を掲載。お客さんの反応は「輸入品かと思ったけど、横浜産なの?」「若手の農家さんもいるんだ」「女性も頑張っているのね」などさまざま。「地場野菜に興味を持ってもらえれば、それが地産地消の拡大につながるのかな」と植木さんは言います。

農家と店舗スタッフと顧客

みんなが幸せになる新たなチャレンジ

植木さんは農家から購入した野菜とは別に、たくさんの野菜をもらうことがあります。味は問題ないけれど少し形が良くなかったり、擦り傷があったりするB級品や、余った野菜です。「もらいきれないことも多くて。日本は自給率が低いと言われているのに、おいしい野菜が捨てられるのはもったいないと日ごろから感じていました」。

そうした野菜を集めて作った総菜を販売すれば、野菜の販路拡大につながり、さらに多くの人に安くおいしいものを食べてもらえると植木さんは考え、地場野菜の総菜店を企画。このアイデアは横浜市が地産地消に貢献する中小企業などを応援する「地産地消新ビジネスモデル支援事業」の一つに選ばれました。

そして今年3月、レストランからほど近い場所に総菜店「REVIVE-RECIPE TENZO(リバイブ・レシピ テンゾ)」をオープンしました。はまふうどコンシェルジュや野菜ソ

ムリエなどの資格を持つ主婦たちがスタッフの中心で、新鮮な地場野菜をふんだんに使ったアイデア料理を提供。イタリアンにこだわらず、主婦ならではの工夫を凝らしたさまざまな総菜や弁当、スイーツなどが並びます。

店名の「リバイブ・レシピ」とは「よみがえりのレシピ」の意味。捨てられかけていた野菜を使うことで農家や畑がよみがえり、主婦たちが社会活動の場を得ることで人材がよみがえる。さらに食べる人も、おいしい料理で疲れた体に明日の活力を養いよみがえります。また、「テンゾ(典座)」とは、禅寺で精進料理を作る僧侶のこと。食べる人のことを第一に考え、その日手に入った素材で最高のものを提供するという教えに共感し、その境地に少しでも近づきたいという植木さんの願いが込められています。

野菜を買うことで農業を応援

おいしい地場野菜を絶やさない

今後、横浜の地産地消に期待することを伺うと、「今以上に農家さんや直売所が増えるといいですね」。横浜は今でも農家が多い地域。しかし、高齢の団塊世代が体力面から徐々にリタイアし、後継者がいない農家も。植木さんは、これから休耕地がますます増えるのではと危惧しています。

「せっかく地元でおいしい野菜が採れるのだから、それを絶やさないように、私たちが買いながら応援して、その良さを広げていかないと」。植木さんは総菜の販路を広げていきたいと考えています。野菜の買い手がいるとアピールできれば、農業に新規参入したい人たちが現れるかもしれません。さらに、「お店の中に農業部門を作り、野菜を作るところから総菜にして販売するまで、できるようになればと思っています」。植木さんのアイデアは尽きることはありません。



総菜店の人気メニュー「車麩井(くるまぶどん)」は、緑区の養鶏場の新鮮な卵、青葉区産の米を使用

スイーツやパンのメニューも。写真右手前はB級品のトマトをビューレにして生地に練り込んだ「トマトのシフォンケーキ」



横浜市と企業の連携

企業も地産地消を応援！

(株)そごう・西武

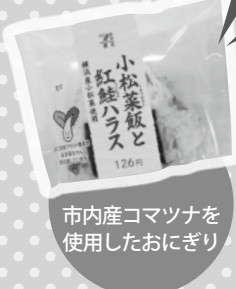
H25.5.3 ~ 5



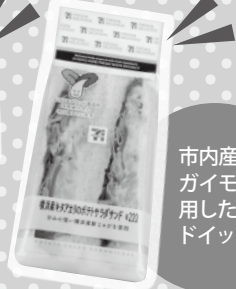
横浜・地恵地楽マルシェ。市内産野菜加工品の販売

(株)セブン-イレブン・ジャパン

H25.6.25 から販売 (販売終了)



市内産コマツナを使用したおにぎり



市内産ジャガイモを使用したサンドイッチ

山崎製パン(株)

H25.9.1 から販売

市内産コマツナ、ジャガイモなどを使用したクロッケをサンドしたパン



横浜市と企業との連携により、市内産農産物を使った新商品の開発や市内産農産物のPRや販売促進を行っています。

横浜の “農” イベント

横浜市内で 開催されるイベント

みなとみらい農家朝市収穫祭

みなとみらい農家朝市は毎月第4日曜日開催。市内の9組の生産者が直売。11月は収穫祭を開催。お買い上げ頂いたお客様150名様に市内産野菜のポトフをサービス。



開催日時 11月24日(日)9:00~11:00 (小雨決行、荒天中止)

会場 高島中央公園 (西区みなとみらい5-2)

アクセス みなとみらい線「新高島」駅から徒歩2分

主催 みなとみらい農家朝市出店者会

問合せ 横浜市農業振興課

TEL:671-2638

農と緑のふれあい祭り

農畜産物等の即売や収穫体験、よこはま畜産まつり、フルーツフェスタ秋「秋季果樹特寄品評会」など。

開催日時 11月3日(祝・日)、10:00~14:00

※こども植物園は 15:00

会場 環境活動支援センター、横浜市児童遊園地、こども植物園

アクセス JR「保土ヶ谷駅」から神奈中バス「児童遊園地入口」下車、またはJR「保土ヶ谷駅」、横浜市営地下鉄「蒔田駅」、京急「井土ヶ谷駅」から市営バス「児童遊園地前」下車すぐ

問合せ 横浜市環境活動支援センター

TEL:711-0635

第42回 横浜花き展覧会

市内の生産者が作ったシクラメンやパンジーなどの花々を審査し、受賞作品を決定。最終日の8日(日)10:00から展示作品の即売会。



開催日時 12月6日(金)~8日(日) ※時間は問合せ下さい

会場 環境活動支援センター 実習展示場(保土ヶ谷区狩場町213)

アクセス JR「保土ヶ谷駅」から神奈中バス「児

童遊園地入口」下車、または横浜市営地下鉄「蒔田駅」・京急急行「井土ヶ谷駅」から横浜市営バス「児童遊園地前」下車

主催 横浜市園芸協会 環境創造局(共催)

問合せ 横浜市農業振興課 任い手支援担当
TEL:711-0636

舞岡ふるさと村 虹の家

① 収穫体験さつまいも掘り (予約制)

開催日 10月19日(土)、10月20日(日)

費用 入園料(大人200円、子供100円)、掘り取り販売価格(5株600円(5株単位))

申込期間・方法 10月11日(金)から電話にて

② パン教室

開催日時 11月17日(日)13:00~16:00

費用 1,500円

定員 抽選12人

申込期間・方法 10月1日(火)~25日(金)、往復ハガキまたはウェブサイトにて

③ 親子手作りリウイナー教室

開催日時 11月30日(土)13:30~16:00

費用 2,200円

定員 抽選12組24人

申込期間・方法 10月1日(火)~25日(金)、往復ハガキまたはウェブサイトにて

④ 舞岡野菜も使ったおもてなし料理教室

開催日時 12月8日(日)10:00~12:30

費用 1,900円

定員 抽選18人

申込期間・方法 11月1日(金)~21日(木)、往復ハガキまたはウェブサイトにて

会場 舞岡ふるさと村虹の家

アクセス 横浜市営地下鉄「舞岡駅」から徒歩5分

申込・問合せ 舞岡ふるさと村虹の家

〒244-0813 戸塚区舞岡町2832番地

TEL:826-0700

舞岡ふるさと村虹の家

検索

寺家ふるさと村 四季の家

① そば打ち教室

開催日時 10月13日(日)、11月16日(土)、12月15日(日) 9:00~12:30

定員 各回12人

費用 2,200円

募集期間・申込方法 開催日の前月1日9:30から電話または窓口にて(先着順)

② 味噌づくり教室

開催日時(期間) 11月より実施予定 詳細は、広報よこはま青葉区版10月号及びウェブサイト参照(決定次第掲載予定)

定員 各回6人

費用 未定

申込方法 往復ハガキに希望日(1人1希望日)午前か午後の別・参加者の住所・氏名電話を記入の上、希望日の2週間前までに「四季の家」必着。返信用宛名も明記。(申込みが多数の場合は抽選)

会場 四季の家

アクセス 東急田園都市線「青葉台駅」から東急バス青30系統「四季の家」停留所下車徒歩1分、東急バス青31系統「鴨志田団地」停留所下車徒歩3分

問合せ 寺家ふるさと村四季の家管理運営委員会
〒227-0031 青葉区寺家町414

TEL:962-7414 FAX:962-6321

寺家ふるさと村 四季の家

検索

新治恵みの里

① いいはる長屋門朝市4周年感謝イベント



当日、お買い上げのお客様(先着250名)を対象に、オリジナル手ぬぐいをプレゼント!

開催日時 11月16日(土)9:30~12:00

② 新治産サツマイモでPR

当日お買い上げのお客様に、新治産サツマイモの試食あり。※なくなり次第終了

開催日時 10月26日(土)9:30~12:00

会場 新治里山公園・いいはる里山交流センター つどいの家

アクセス 十日市場駅から徒歩15分

主催 新治恵みの里準備会

問合せ いいはる里山交流センター

TEL:931-4947 FAX:937-0898

田奈恵みの里

① 「田奈の手づくり米糰みそ」試食販売

農産物直売所「四季菜館」にて女性農業者が今年仕込んだ、無添加の味噌を販売。来場者先着200名に味噌汁のサービス。※味噌汁サービスはなくなり次第終了

開催日時 10月19日(土)10:00~

② 田奈農業まつり

田奈産の新鮮野菜や花、苗木、農産加工品などを販売。農産物



展示会は農家自慢の農産物が揃い必見。

開催日時 11月

23日(土)9:00

~16:00、11月

24日(日)9:00

~14:00

③ こんにやく作り教室

地元女性農業者指導のもと、地場産の生芋からこんにやくを手づくり。

開催日時 12月

14日(土)13:00~16:00

対象 横浜市在住・在勤・在学の方

定員 20人(大人の方のみ、子連れ不可)

費用 1,500円

持ち物 エプロン、三角巾、マスク

募集期間・申込方法 11月1日(金)~20日(水)

必着、FAXまたはハガキで、参加される方の住所・氏名・(フリガナ)・電話番号・年齢を記入のうえ、下記申込み先へ。

申込先 〒227-0064 青葉区田奈町52-8

田奈農協 指導相談部「こんにやく作り教室係」

TEL:981-6281 FAX:989-4300

会場 田奈農協本所

アクセス 東急田園都市線「田奈駅」から徒歩8分

問合せ 田奈農協

TEL:981-6281 FAX:989-4300

都岡地区恵みの里

小麦・うどん作り教室 (全6回)

農家指導のもと、小麦の栽培体験とうどん作り。



開催日時(期間)

11月～翌年の7月下旬または8月上旬の土曜または日曜。

第1回種まき 11月30日(土)9:30～

第2回以降の予定、麦踏:(2月)、鳥よけ:(4月)、収穫・脱穀:(6月)、うどん作り:(7月下旬または8月上旬)

会場 旭区下川井町の畑

アクセス 相鉄線「三ツ境駅」からバスで「程ヶ谷カントリークラブ前」下車徒歩5分

対象 市内在住の家族(一人でも可)

定員 20家族(抽選)

費用 6,000円(一家族)

募集期間(申込み締切) 10月31日(木)(必着)

申込方法 ハガキまたはFAXで郵便番号、住所、電話番号、参加者全員の名前・年齢を記入の上、お送りください。

申込先 〒241-0031 旭区今宿西町289

FAX:955-5057 TEL:090-7733-8532

都岡地区恵みの里運営協議会事務局「小麦作り係」

問合せ 北部農政事務所

TEL:948-2482 FAX:948-2488

JA 横浜

Foodで風土フェア in 都筑

見晴らしの良い、広大な畑をウォーキングしながら野菜の収穫を体験。家族やグループでの参加大歓迎! 予約方法などの詳細はJA横浜のウェブサイトやポスター・チラシ等で。

開催日 11月23日(土)

会場 都筑区折本・東方農専内畑、JA横浜きた総合センター

問合せ JA横浜 農業振興課 TEL:805-6613

JA横浜 Foodで風土フェア in 柴シーサイドファーム

小高い丘の上で、金沢八景の海を眺めながら旬のみかんを収穫。予約方法などの詳細はJA横浜のウェブサイトや支店・農産物直売所ハマツ子のポスター・チラシ等で。

開催日 10月26日(土)

会場 JA横浜柴シーサイドファーム

問合せ JA横浜 農業振興課 TEL:805-6613

JA横浜 第11回横浜農協きた地区JAまつり

地場農畜産物・花・植木等の販売、模擬店やおもち・お赤飯の販売、ヒーローショーなど。

開催日時 11月16日(土)9:00～16:00、11月17日(日)9:00～15:00

会場 JA横浜 きた総合センター

アクセス 横浜市営地下鉄「仲町台駅」から市営バス「江田駅」行き(301系統)へ乗車し、「向原」にて下車。徒歩5分。もしくは、市営地下鉄センター南駅、道中坂下、JA横浜港北支店・中里支店・新治支店から無料貸切バスを運行。

問合せ JA横浜 組合員課 TEL:942-2312(代)

はまふうど コンシェルジュが 開催するイベント

はまふうどコンシェルジュ
＝横浜の地産地消案内人

スローフード、 スローフラワー in 横浜 10/19

7期生 白井彩子さん

「ハロウィンの花と食」をテーマに、横浜産の花を使い、収穫の秋にちなんだ花と食を体験。

(お花のお持ち帰り可)

開催日 10月19日(土)

会場 Archship Library & Cafe 関内駅から徒歩5分

①**入門編**13:30～14:30(60分) 定員8名様 2,000円(学生1,500円)

スイーツ1種、ドリンク、花代(2種類程度)込み 日常的な器を用い、季節の花や木々を参加者同士でシェア。

②**中級編**15:00～16:30(90分) 定員6名様 3,500円(学生3,000円)

スペシャルスイーツプレート、ドリンク、花代(3～4種類)込み

やや本格的な華道の技術と旬の食材を使った簡単アレンジレシピ。

主催 スローフード、スローフラワープロジェクト(山根元美+フードランドスケープ)

申込先 ※申込締切10月15日(火)

slowfood.slowflower@gmail

まで「名前、連絡先、希望クラス、参加人数」を明記。



磯子収穫祭(かかし祭り)

4期生 荒木信行さん

区内の子ども達やボランティアが無農薬にこだわって育てた野菜(さつまいも、大根、小松菜)の収穫体験。生育状態によっては野菜の変更あり。

開催日時 11月3日(日)10:00～12:00(小雨決行、荒天10日に順延)

受付 9:30～

会場 磯子・海の見える公園

対象 どなたでも(多数の場合は、子ども優先)

定員 100名

費用 300円

持ち物 大きめの袋

募集・申込方法 当日先着順

アクセス JR:根岸駅 徒歩15分 磯子駅 徒歩20分 市営、京急バス:浜 徒歩5分 八幡橋 徒歩7分。尚、駐車場はありません

主催 めっちゃどろクラブ

問合せ めっちゃどろ事務局 荒木

TEL:090-2498-0403



横浜野菜 de 料理教室 「はまキッチン」

4期生 長谷川さとみさん



はまふうどコンシェルジュであり、野菜ソムリエの資格も持つグループ「はまキッチン」の講師による、地元横浜野菜をたっぷり使ったレッスン。

①**すてきで手軽なおうちイタリアン**

開催日時 10月15日(火)、11月19日(火)、12月17日(火)10:30～13:30

②**初めての男の手料理**

開催日時 10月16日(水)、11月20日(水)、12月18日(水)10:30～13:30

③**からだよろこぶ麺のおかず**

開催日時 10月30日(水)10:30～13:30

④**ベジフル薬膳**

開催日時 11月27日(水)10:30～13:30

⑤**おもてなし料理**

開催日時 12月11日(水)10:30～13:30

会場 JA横浜「クッキングサロンハマツ子」

アクセス 横浜市営地下鉄「センター北駅」から徒歩1分

費用 3,000円

定員 16名

申込方法 JA横浜 地域ふれあい課へ

TEL:942-2312(平日9:00～16:00)か

http://ja-cookingsalon.jp/より

問合せ hama_kitchen@yahoo.co.jp (はまキッチン)

はまふうどコンシェルジュ 活動紹介コーナー

様々な地産地消の活動を推進しているはまふうどコンシェルジュを紹介します!

みんなのキッチン代表

有澤つあ子さん(6期生)

横浜北部地域で情報紙を発行して14年。2011年より食のコミュニティスペース「みんなのキッチン」の企画運営を行っています。具体的な取組としては、地産地消をテーマにしたランチや料理教室、「トマトまつり」、「横浜野菜を使った野菜スープコンテスト」などのイベントを実施しています。今年度のスープコンテストは10月中旬より参加募集開始です(決勝は2月)。みなさんご応募お待ちしております。詳細は、みんなのキッチンHPをご覧ください。



みんなのキッチン

検索



大賞受賞者は、みんなのキッチンでスープカフェ開催のご褒美も!

ミクニヨコハマ

「秋の地産地消メニュー」

横浜市内を中心にシェフ自ら生産者を訪れて畑でとってきた食材などを使った、自然の力と魅力があふれるメニューをご用意いたします。

期間：11月1日(金)～30日(土)

営業時間：ランチ 11:30～15:00(14:00LO)

ディナー 17:30～22:00(21:00LO)

アクセス：JR「横浜駅」東口から徒歩3分

問合せ：TEL:045-442-0430

www.mikuni-yokohama.com



市内産ハチミツやサツマイモなどを使った特製「ハマッチモンブラン」

横浜の
“農”
を味わう!

よこはま 地産地消サポート店 の特別企画

横浜市では、地産地消を推進するために、市内産の農産物を使ったメニューを提供する飲食店を「よこはま地産地消サポート店」として登録しています。ぜひ、よこはま地産地消サポート店に登録しているお店で市内産農産物を味わってください。

パン工房 Juneberry

「横浜野菜応援フェア」

旬の新鮮横浜野菜と当店自慢の天然酵母を使ったパン生地が出会い、オリジナル地産地消メニューが続々登場!! 高温短時間で調理することにより、新鮮な横浜野菜の美味しさを最大限に引き出した当店自慢のピッツアです。

期間：11月1日(金)～30日(土)

アクセス：横浜市営地下鉄ブルーライン中川駅から徒歩3分(都筑区中川1-17-22 ガーデンプラザ宮台)

問合せ：TEL:045-308-6727



横浜野菜と荒挽きウインナーのホワイトソースピッツア

れすとらん さいとう

横浜の秋をまるかじり!

地産地消スペシャルランチ!

農家さんの畑から直送の野菜など、市内産の地場食材をコース料理のすべてに使います。秋の旬な横浜を満喫してください!

期間：11月上旬～下旬

アクセス：東急東横線・JR 横浜線「菊名駅」東口から徒歩5分

問合せ：TEL/FAX:045-434-1761



秋の横浜野菜のバレットサラダ「岩井の胡麻油」さんの「黄白ゴマ油」ドレッシングで

キッチンカリオカ

「農家直送横浜農園セット」

黒毛和牛100%の横浜ハンバーグが売りです。シェフ自ら農園に足を運び、2箇所の契約農家からお野菜を仕入れ、様々な料理でご提供させて頂いています。

期間：11月1日(金)～30日(土)

営業時間：平日 11:30～15:30、17:30～22:30(22:00LO) 土曜 11:30～22:30(22:00LO) 日祝日 11:30～21:30(21:00LO)

アクセス：横浜西口五番街

問合せ：TEL:045-311-2169



横浜ハンバーグと農家直送横浜農園セット

彩(いろどり)

地産地消メニュー

板前歴一筋43年の主人が作る惣菜・弁当の店です。手間暇惜みず、おいしいものを作り続けています。泉区の野菜と卵を使って彩りの良いお弁当を作っています。

期間：11月1日(金)～15日(金)

アクセス：横浜市営地下鉄立売駅から7分、谷戸入口交差点そば

問合せ：TEL/FAX: 045-805-0020



泉区の野菜と卵、神奈川県産の鯖を使ったお弁当!
期間中毎日10個限定650円

よこはま地産地消サポート店について

横浜市内産農産物を利用されている飲食店の皆様、ぜひ「よこはま地産地消サポート店」にご申請ください。登録店の情報は、横浜市のウェブサイト「横浜で地産地消情報サイト」等で紹介します。

1. よこはま地産地消サポート店の対象

市内にある食品衛生法の飲食店営業等の必要な許可を受けている料理店、一般食堂、レストラン、仕出し屋、総菜屋、弁当屋、農産加工業者。

2. 登録の要件

所在地が市内にあり、横浜市の地産地消の趣旨に賛同し、市内産農産物を活用していること、推薦者(生産者、出荷組合、農協、市場、仲卸業者)の推薦書の提出があること、市内産農産物を活用していることを店頭やメニューに表示していること。

3. サポート店の役割

市内産農産物を積極的に活用し、市民に良さを紹介し、地産地消の推進に努めます。

4. 登録の手続き

申請書類は、ウェブサイト(「よこはま地産地消サポート店」で検索)からダウンロードできます。

◆よこはま地産地消サポート店の登録店リスト

よこはま地産地消サポート店

検索

5. 登録店への支援策

横浜市のウェブサイト「横浜で地産地消情報サイト」、「はまふうどナビ」等の情報誌に掲載してPRします。